



IOTA の魅力と楽しみ方

“CQ CQ DE JA4GXS/4 AS117 K”

JA4GXS / SASAKI



IOTA の魅力と楽しみ方

2022 年 8 月 IOTA CP JA

IOTA って、どういうアワード？

最近ハンスポットナンバーが 100 を越える日が多くなり、サイクル 25 の始まりを感じさせますが、まだまだ FT8 でしか開けない時間帯がある中で入感する DX で、普通の DXCC エンティティにもかかわらずパイルアップになっている局を聞いたことがありませんか？ これは IOTA (アイオータ) と呼ばれる、全世界に存在する島から運用する IOTA ペディショナーと、それを呼ぶ IOTA チェイサーの信号です。IOTA とは Islands On The Air の略で、1964 年に英国の SWL ジェフ・ワッツ氏によって考案され、1985 年以降英国のアマチュア無線連盟の RSGB が引き継ぎ、2016 年より IOTA Ltd. という非営利団体が RSGB 協賛を受けて運営しています。IOTA プログラムを楽しんでいる局は全世界では約 1600 局、日本では約 270 局が参加しています。最近ハ、DXCC を全て交信し終わった局が新たな目標として IOTA プログラムに参加されています。

DXCC との大きな違い

DXCC では国を基本として異なるエンティティを大陸に関係なく 100 以上交信する事でアワードが申請出来ますが、IOTA では 7 大陸 (通常の 6 大陸 + 南極) の最低 1 島を含む異なる 100 島以上と交信し QSL カードを得る事で申請出来ますが、アワード取得は必須ではありません。DXCC では基本アワード以降はステッカーですが、IOTA では 100 単位で 1100 までのアワードと地域 (7 大陸 + 英国沿岸、北極圏、南極圏、World Wide) アワードが発行されます。さらに 750 以上の島のクレジットを得る事で IOTA-750 楯が、1000 以上の島のクレジットを得る事で IOTA-1000 トロフィーが取得出来ます。DXCC のエンティティは現在 340 ありますが、IOTA ではリストアップされている島のグループ数は約 1200 にものぼります。DXCC で日本は本土、小笠原、南鳥島の 3 エンティティですが、IOTA では未運用の尖閣列島を含め総数 28 ものクレジットが設定されています。IOTA の特徴として、自身が運用した島は、自分のクレジット数に加算出来る事が DXCC とは大きく異なる点で、みなさんがお住まいの近くにある島などもハンティングとは別にサービスする立場にも簡単になれて、自身のクレジット数を増やす事も可能です。IOTA では、DXCC のオーナーロールに相当するものとして、現時点 (2022 年 7 月 1 日) で運用のあった島の総数 1136 の半分 568 以上と交信する事でオーナーロールにリストアップされます。DXCC では、バンド毎のエンティティ数を加算して 1,000 エンティティ以上で CHALLENGE 楯が取得出来ますが、IOTA はいずれかのバンド・モードに関係なく 1 交信すればよく、この事は出来るだけ多くのチェイサーに交信の機会を与えるために複数のバンドでの交信を IOTA としては推奨していません。しかし、DXCC のレアエンティティが IOTA のレアな島になる事もあり、なかなか守られていないのが現実の様です。又、50MHz 以上のバンドのみで IOTA の島と交信する事で、「IOTA-V/UHF アワード」が取得可能で、いずれかの 5 大陸から最低 1 島以上の 100 島と交信する事でアワードが取得出来ます。日本からはこの「IOTA-V/UHF アワード」は、2022 年に 8 名の方が取得されました。IOTA に参加されている局が希望すれば、毎年 1 月 31 日締め切りによるアニュアルリスティングにコールサインとクレジット数が発表されます。

IOTA にクレジットされる島に関する規定

IOTA プログラムでクレジット対象となる島の定義は、「湖や河川ではなく外海 (湾の開口部が 5Km 以上) にある島である事」、「人工的な島ではなく自然の島であり、満潮時に海面上に存在する事」、「干潮時に大陸もしく

は親となる島から 200m 以上離れている事」、「Google Earth や百万分の一の地図等で島の存在と島名が表示されている事」、とされています。この定義により、宮城県松島湾内の島（湾の開口部が狭いため）や琵琶湖の竹島（湖の島）、沖ノ鳥島（人工的な護岸により保護された島のため）、神奈川県城ヶ島（護岸工事により本州との距離が 200m 以下になったため）、神奈川県江ノ島、広島県向島、山口県青海島・彦島（本土との距離が 200m 以下のため）がクレジット対象から外されました。又、IOTA 番号が 1,200 を超えない様に管理されていますが、クレジット消滅がいくつか発生すると、逆に分割されて新しい IOTA 番号を割当てる事もあり、以下の様に新しい IOTA 番号が付与された日本の島もあります。北海道沿岸の島（利尻島・礼文島・奥尻島など）が AS-078 から分離され AS-147 に、四国沿岸の島（小豆島・瀬戸内海の四国側の島など）が AS-076 から分離され AS-200 になりました。

ルールを知るために必要な資料

IOTA プログラムのルールを解説した「IOTA ディレクトリ」というルールブックを入手しておく事をお勧めします。IOTA アワードのルールや島のリストを掲載した英語版「IOTA ディレクトリ」2018 年版は、IOTA のウェブショップ(*1)にて 17 ポンド（約 2,800 円）で購入が可能です。又、IOTA ウェブサイト(*2)でもこの「IOTA ディレクトリ」の電子版を公開しており、PDF で無償ダウンロードが出来ます。英語はちょっと苦手と思われる方は、英語版「IOTA ディレクトリ」を分かり易く日本語に抄訳したものを、IOTA CP JA のホームページ(*3)にて無償で PDF にて提供を行っています。IOTA プログラムルールは 5 年毎（次回は 2025 年）に見直しが行われており、又、アマチュア無線界の動向に合わせて若干のルール変更が随時行われています。最近ではリモート局を用いた交信に関する規定が追加されました。又、クレジット対象となる島のリストも逐次改定されていますので、常に上記サイトで最新版をダウンロードして確認して下さい。

申請はどうするの？

1945 年 11 月 15 日以降の QSL カードから IOTA の島としてカウント出来るカードを探し出して下さい。カウントできる島は、「IOTA ディレクトリ」に記載されている島であることが条件となっています。又、2001 年以降の QSL カードには運用した島の名前が印刷されていることが必須ですので、注意してカードを探しましょう。まずは、IOTA ウェブサイト(*2)にユーザー登録を行いましょう。ユーザー登録を行うと認証コードが電子メールで送付されますので、その認証コードを入力し、パスワードを設定した後、IOTA ウェブサイトにログインして下さい。トップページで言語を日本語選択すると、IOTA ウェブサイトの表示が日本語に切り替わりますので、英語が苦手という方にも使いやすい様になっていますので、ご安心下さい。多くの方々より、「沢山あるカードの中から IOTA のクレジットに使えるカードを探し出す手間が面倒で、申請に二の足を踏んでいる」とお聞きしています。そこで、IOTA Ltd. は 2016 年 7 月から “Club Log”、2020 年 5 月から “LoTW”によるログ照合の機能を追加し、照合出来た QSO が電子的にクレジットに追加され、これにより QSL カードを IOTA CP JA に送付する必要がなくなりました。この機能を活用するためには、Club Log(*4)・LoTW(*5)でもユーザー登録が必要です。“Club Log”・“LoTW”によるログ照合の機能を使うための手順については IOTA CP JA のホームページ(*3)に日本語マニュアルを用意していますので、ご参照ください。これから新規に申請を考えられている方々は是非この機能を活用してカード探しの手間を省いてみて下さい。又、毎年 7 月最終週末に開催される IOTA コンテストに参加し、そのコンテストログを “Cabrillo”形式でアップロードするか手入力することで、QSO が一致した分についても、同様に QSL カードの送付の必要はありません。クレジット数が 100 を超えたなら、IOTA ウェブサイトの指示に従って申請処理を行うと、申請料（日本円換算の金額）が自動的に計算されますので、申請料は PayPal を使って直接 IOTA Ltd.へ支払うか、又は指定された送金方法で IOTA CP JA へ送金して下さい。QSL カードの提出がある場合は返送料を添えて IOTA CP JA 宛て郵送でお送り下さい。申請が IOTA CP JA に通知され次第

チェックを行います。その後、IOTA Ltd.に申請が転送され、最終承認処理が完了した旨の電子メールが届けば、申請が完了します。PDF による IOTA アワードを申請した方は最終承認通知メールに PDF で添付されて届きます。IOTA アワードは PDF 以外にも通常の紙ベースでも郵送受領出来ますが、アワード料金が倍額になる事にご注意下さい。又、送付された QSL カードはチェック終了後、申請者の希望による郵送方法にてご返却いたします。IOTA ウェブサイト(*2)のユーザー登録、QSO データの入力方法、IOTA アワードの申請方法に関する手順についても、IOTA CP JA のホームページ(*3)に日本語マニュアルを用意していますので、ご参照ください。

珍しい島からの QRV 情報はこうやって知る

IOTA プログラムでは、アワード取得者の全体のクレジット率が 20%以下をレアな島、20%～30%をセミレアな島と定義しています。このクレジット率は IOTA ウェブサイト(*2)の検索機能を使って、調べたい IOTA 番号を入力する事で検索する事が出来ます。では、どうやってこの様な珍しい（レア・セミレアな）島からの運用に関する情報を得られるでしょうか？ 最も情報量が多いのは I1JQJ Mauro が主催する 425DXN(*6)です。オンラインで情報を見る事も出来ますし、メーリングリストに登録すれば毎週土曜日にブリンをメールで受信する事も可能です。さらに、JN6RZM 山本さんがいろいろな IOTA ペディショナーとのチャネルにより得られた情報をご自身のブログ(*7)にも掲載されていますので、参考にされてはどうでしょうか？ 毎年 7 月最終週末に開催される IOTA コンテストに参加予定の IOTA 運用局の情報は、NG3K Bill のコンテストサイト(*8)で確認出来ます。

IOTA 運用を行った時の QSL カードに必要なこと

通常の QSL カードに必要なとされる QSO データの他に、IOTA 独特の必要事項があります。それは、運用した島の名前と IOTA 番号が印刷されている事が必要です。島の名前は IOTA ディレクトリの島リストに掲載されている島名のいずれかである事が望ましいとされています。又、IOTA ロゴは改変されない限り自由に使用していただいて結構です。IOTA ロゴのデータは IOTA ウェブサイト(*2)から GIF ファイル形式でダウンロードが可能です。

質問はどこへ問い合わせればいいのか？

IOTA CP JA の中嶋宛てに電子メール (ja9iff at ba2.so-net.ne.jp) にてお問合せ下さい。又、各種ハムフェアの会場にても IOTA のプロモーションのブースを開設している場合がありますので、直接ブースにお越しいただいても結構です。

以 上

【URL】	https://www.iota-world.org/ja/iota-shop.html	(*1)
	https://www.iota-world.org/	(*2)
	https://jim0836.wixsite.com/iota	(*3)
	https://secure.clublog.org/	(*4)
	https://lotw.arrl.org/	(*5)
	http://www.425dxn.org	(*6)
	http://www.jn6rz.m.cocolog-nifty.com/	(*7)
	http://www.ng3k.com/Misc/iota2022.html	(*8)

電子照合を利用した「IOTA申請」までの流れ

使用するウェブは、①Club Log、②LoTW、③IOTAウェブ、④PayPalの4つです。

STEP1 Club Logの登録

①Club Logユーザー登録

<https://clublog.org/signup.php>

Sign Up to Club Logにて、Name・Email・Password等を登録

②電子ログからのADIF抽出とアップロード

<https://clublog.org/loginform.php>

Club Logにログインし、「Upload」にて抽出したADIFをuploadします。

STEP2 LoTWの登録

①LoTWユーザー登録

<https://lotw.arrl.org/lotwuser/default>

事前にARRLにLoTWユーザー登録を行い、TQSLアプリをインストールします。

②電子ログからのADIF抽出とアップロード

TQSLアプリを使って抽出したADIFをuploadします。

STEP3 IOTAウェブへの新規ユーザー登録

①新規ユーザー登録

<https://www.iota-world.org/ja/login.htm>

ユーザー登録画面に従って、コールサイン・パスワードを登録します。

<https://jim0836.wixsite.com/iota/manual>

STEP4 Club Log MatchingとLoTW QSO Matchingの実行

①「Club Log QSO Matches」の実行

ログイン後、「自分のIOTA」から「Club Log照合によるクレジットの追加」をクリックします。
Club Log Matchingにより照合結果があればクレジットを追加します。

<https://jim0836.wixsite.com/iota/manual>

②「LoTW QSO Matches」の実行

「自分のIOTA」から「LoTW照合によるクレジットの追加」をクリックします。
LoTW Matchingの実行で、新規クレジットがあれば自動的に追加されます。

<https://jim0836.wixsite.com/iota/manual>

STEP5 IOTA申請

AF/AN/AS/EU/NA/OC/SAの7大陸から少なくとも1クレジットある事と
クレジット数が100を越えたら、「自分のIOTA」から「HF帯の申請提出」をクリックします。

<https://jim0836.wixsite.com/iota/manual>

STEP6 PayPalによる支払い

支払い「Payment to IOTA Ltd.」を選択すると、自動的に PayPal ログイン画面が表示されますので、ログイン後支払いを完了して下さい。

STEP7 IOTA Ltd. からの最終承認メール受信で完了

PDFアワードを申請した場合はIOTA Ltd.からの最終承認メールに添付、
紙アワードを申請した場合は約10日程度で郵送されて来ます。

申請者クレジット率(少ない順)

2022年9月3日 現在

	Ref. No.	申請者クレジット率 (%)	Group Name	
1	AS-194	0.0	Senkaku Islands	尖閣
2	AS-056	22.8	Danjo Islands	男女
3	AS-206	25.9	Honshu's Coastal Islands East	本州沿岸東 ●
4	AS-030	26.5	Kazan (Volcano) Islands	火山(小笠原)・硫黄島/北硫黄島/南硫黄島
5	AS-067	26.5	Uji & Kusagaki Islands	宇治・草垣
6	AS-036	30.6	Iki / Tsushima Islands	壱岐・対馬 ●
7	AS-043	30.8	South Izu Islands	南伊豆 ●
8	AS-049	32.4	Tokara Islands	トカラ
9	AS-008	34.8	North Izu Islands	北伊豆
10	AS-200	35.2	Shikoku's Coastal Islands	四国沿岸 ●
11	AS-023	35.4	Amami Islands	奄美 ●
12	AS-037	36.6	Koshikijima Islands	甑(こしき) ●
13	AS-040	38.0	Goto Islands	五島 ●
14	AS-047	38.2	Daito Islands	大東 ●
15	AS-147	40.6	Hokkaido's Coastal Islands	北海道沿岸 ●
16	AS-032	41.6	Osumi Islands	大隅 ●
17	AS-041	41.6	Oki Islands	隠岐 ●
18	AS-079	42.6	Miyako Islands	宮古 ●
19	AS-024	42.8	Yaeyama Islands	八重山 ●
20	OC-073	47.4	Minami Torishima	南鳥島
21	AS-012	49.6	Kyushu's Coastal Islands	九州沿岸(天草等)
22	AS-017	51.6	Okinawa Islands	沖縄
23	AS-117	52.0	Honshu's Coastal Islands West	本州沿岸西 ●
24	AS-077	63.1	Kyushu Island	九州
25	AS-031	64.7	Chichi / Haha / Muko Islands	父島/母島/聳島(小笠原) ●
26	AS-076	67.4	Shikoku Island	四国
27	AS-078	68.6	Hokkaido Island	北海道
28	AS-007	80.9	Honshu Island	本州 ●